

GikaiNews

たけた 市議会だより

- 代表質問 2~4
- 一般質問 5~8
- 予算特別委員会 9
- 第2回定例会の議決結果 10~11



今号から竹田市在住のフォトグラファアーティスト(芸術家)の作品を表紙に載せていきます。

写真提供者 後藤 俊治

●所属

大分県美術協会写真部会員 豊肥支部 支部長
竹田市美術協会写真部会員
mono96FC(モノクロフィルムクラブ)所属

●受賞歴

- ・2015年第32回「日本の自然」写真コンテスト 入賞(大分県一賞)
- ・2016年大分合同新聞社マイアングル月間賞・特選
- ・2016年大分合同新聞社マイアングル年間賞・優秀賞

代表 質問

市長の施政方針に各会派が

平成29年度第2回定例会は6月5日から6月27日までの23日間の日程で開かれました。

6月12日、4会派の代表者が代表質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。

なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。



新風会

坂梨宏之進



これまで竹田市の市長として2期8年の自身の評価、これからの意気込みについて

問 これまでの間に九州北部豪雨、熊本地震があった。その災害対応について市長として自身をどう評価するか。

市長 自身にとっては、2期目の平成24年の九州北部豪雨災害の復興が最大の使命であり、特に初動対応を迅速に行つたと評価している。また、最新の生活情報をホームページ、ケーブルテレビ等で情報発信し、多くの市民の注視があつたことは成果として評価している。後に総務省から招聘され、災害発生緊急時の首長としてのあり方について、検証を受け

ながら評価をいただいた。

熊本地震においては、復旧活動と並行し「ボランティア竹田ベースキャンプ」を設置したことは全国的に高い評価をいただいた。災害協定を締結している自治体からの応援をいただいた。このことから地域間交流を密にしていくことの大切さを感じた。

問 今期、竹田市のために最も力を入れたことは。

市長 地域の経済力をどう上げていくかが重要な課題であり、このことが無ければ、竹田市の存続はないと思つている。

地域新電力事業の参画も視野に入れていく。最終的には、その際得られる財源を、高齢社会への対応、教育の環境づくり、地域貢献、社会貢献に寄与できるものに位置付けたいと思う。

高齢化が進むなかで、今後の支所のあり方をどう考えるか。

問 高齢化の進むなかで、今後の各支所の存続を含めたあり方を聞きたい。

総務課長 各支所のあり方については、これまでの考え方と相違はない。また、廃止することは想定していない。少子高齢化のなかで行政機能だけでなく、市民協働の拠点施設として市民に期待される拠り所となるよう研究検討したい。

このほか図書館、各支所の地域振興について質問した。



清風会
加藤 正義

高齢者の移動手段のシステム化について

問 「おしゃべりサロン」が楽しいとイキイキしている集落もあれば自分の自治会にはないという声もある。その現状と育成は。

保険健康課長 自治会数356のうち131か所1,488名が登録、

今後も健康寿命を延ばすため推進する。

問 老人クラブは、閉じこもり防止や友愛活動などでその意義は高い。支援と加入率を高めるてだては。

高齢者福祉課長 1クラブ3万6千円補助金を交付している。今後さらに加入促進を図りたい。

問 高齢者世帯の悩みは、病院通いや買い物への移動手段。週2、3回低料金で、家までの交通手段が必要ではないか。

高齢化福祉課長 関係団体とプロジェクトチームで交通手段確保について検討を進めている。

市長 市内の福祉施設・医療機関で無料サービスの企画もあり、その持続可能性、陸運局の判断など分析し、モデル地域として実施することも検討している。

竹田高校の更なる魅力化について

問 4年連続定員割れ、市内全中学3年生の総数は140人台、全員でも定員の160名に満たない。魅

力アップし受験生を増やす方策を。

① 通学費、例えば三重駅から竹田駅まで月8千240円、年9万8千880円と保護者の負担は大きい。助成できないか。

② 奨学金制度として、財政的困難な人や成績上位の生徒に、月3万円、20名程の制度新設は。

③ 学力向上に向けて、予備校等の講座開催の支援は。

企画情報課長

① 市外からの通学生は190名。学校や同窓会が主体であれば、応援できることもある。

② 奨学金制度は、行政が主体となり制度をつくるよりも学校や自治体、同窓会がそれぞれの立場で連携・共同できる取り組みを構築すべき。

市長

③ 地域に根ざした伝統校を守るという明確な位置付けで、地方創生も視野に入れながら、同窓会や地域の皆さん、そして新しく発足する組織の中で検討していきたい。

その他、三重総合高校久住校についても質問した。

周辺地域の振興について



仁政クラブ
吉竹 悟

問 荻中心部には20歳未満の若者がいない状況が続く、商店も減少しが危惧される。久住地区も商店が減少し、後継者も育たない。長湯もバypassの完成以降、湯の原地区に賑わいは無い。具体的な政策がないのか問う。

市長 荻、久住、直入地域の中心部の活性化において、一つには地域の特性を活かした産業振興による経済力強化、もう一つは、移住定住としての整備である。

荻地域はもちろん農業が基盤なので、農と食と水を活かした産業振興を進める。施設園芸の基盤整備が

進み若者が戻りつつあるので、PFIによる定住促進住宅の建設を行い、本年12月には10世帯が新たに中心部に住むようになる。

久住地域は、観光と畜産が産業の両輪だ。環境省の「満喫プロジェクト」とおして観光振興と牧野の維持と活用を図る。中心部には久住地区都市再生整備事業を通じて、久住コミュニティセンター等の賑わいづくりと、駐車場整備等で街なかへ誘客を進める。

直入地域の中心ではクアハウスの建設を進めているが、直入地域は温泉を活かした観光と農業を柱に産業振興を進める。久住地域と併せてインバウンドの振興にも大きな可能性がすでに顕在化しつつある。

農村回帰を進めるうえで、温泉や自然景観、農業などの地域資源を定住の目的にされる移住希望者が多くいる。今後は、各支所と農村回帰支援センターの集落支援員が協力して、空き家等の情報把握を行い、定住先としての3地域での条件整備を進めていく。周辺地域の中心部

の活性化は、ハード事業だけで目的は達成できる様な容易なものではない。城下町の再生計画で得た知見を活かし、地域交通網の整備や定住促進策、中小企業振興策など、行政のソフトを含めた多様な施策が必要であることと、地域の主体となる市民の熱意が不可欠である。

このほか、農業政策について、中心市街地の今後について、クアオルト構想について質問した。



新生会
鷲司 英彰

竹田市の財政状況について

問 財政調整基金が20億円を下回ると市の財政状況が厳しいとされていた。その定義は今も当てはまるのか。

財政課長 自治体の財政調整基金

の目安は、自治体の「標準財政規模」の約10%である。平成27年竹田市の標準財政規模が約110億円であるから、約11億円が財政調整基金の目安となる。但し災害が多い竹田市においては倍の22億円を確保したい。

問 竹田市の農業生産額は約228億円と県下トップである。しかし、納税者一人あたりの平均所得となると厳しい状況である。後継者対策も含め農林業の展望を聞く。

問 今後、大きな支出も控えているだけに財政状況は大丈夫か。

農政課長 竹田市独自の施策として、親元就農支援給付金制度や妊娠・出産期における人件費の支援制度、竹田市に移住・定住し就農を希望する人たちの住宅費の支援する制度等がある。農林業の展望については、今後も国や県の施策を取り入れ、さらに米に代わる作物についてJ Aと連携し、農業所得向上のための振興策を築いていく。

このほか、農業政策について、中心市街地の今後について、クアオルト構想について質問した。

問 合併特例債等確かに有利であるが返済も伴う。その限界を誰がどう判断するのか。

財政課長 実質公債比率は平成27

年末で4・5%と良好である。財政健全化に関する法律をもとに、健全化判断比率及び資金不足比率を示している。そうした数字は毎年監査を受け議会に報告している。

問 バイオマス発電によるエネルギーの地産地消について伺う。

副市長 風力・水力・太陽光・バイオ

の目安は、自治体の「標準財政規模」の約10%である。平成27年竹田市の標準財政規模が約110億円であるから、約11億円が財政調整基金の目安となる。但し災害が多い竹田市においては倍の22億円を確保したい。

問 今後、大きな支出も控えているだけに財政状況は大丈夫か。

財政課長 歳入に見合った財政運営を基本としながら、過疎対策事業債や合併特例債、国や県の補助事業を活用していく。行政改革の推進やPFI等民間活力の活用や公共施設の整備など、総合的な取り組みの中で財政基盤の確立に努める。

竹田市の農林業について

金・人材・仕組み等必要なことを調査していきたい。

一般質問

市政を問う

6月14日・15日、6人の議員が一般質問を行いました。
その内容を要約してお知らせします。
なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。

商工観光課長 設計者、市役所、市民の皆さんとの対話の中で流動的に考えながら進める。

問 設計者に対して市民の意見はどのように反映されるのか。

商工観光課長 即座に変更する柔軟性を設計者が持つっており、今後也是对話を重ねる。

城下町交流拠点施設について

問 城下町交流拠点施設による賑わい創出は。

商工観光課長 コミュニティセンターには住民窓口業務と観光案内機能があり、市役所で行う会議を移すことで年間最大2千人が来る。

問 コミュニティセンターの基本設計は。

大会を視野に入れたチームを作る。市長の考えは。

市長 大きく、しかも建設的な提言であり、斬新的な先導的な視点での事業だ。地域に及ぼす活性化の力が期待できる。どういう方法論があるのか、費用対効果を含めて前向きにみんなで考えていく必要がある。

地域おこし協力隊について

問 今年新たに加わった協力隊は。

企画情報課長 14名採用した。Uターンもいる。すでに定住している先輩隊員のネットワークを通して、単に田舎暮らしを望んでいるのではなく、竹田市の政策や街づくりに関心を持って、竹田市だからこそ定住をしたという隊員が多い。

問 隊員の方には先輩のネットワークを通してだけでなく、地元の市民との交流こそ大事であり、不足していると感じている。組合やお祭り、消防団にも積極的に加わってほしい。

企画情報課長 勤務の形態も定住に向けた自主的な活動や、地域活動

に参加しやすいように設定している。広報紙やケーブルテレビを通して活動の成果を伝えている、一方通行ではない市民とのふれあいを積極的に作ってまいりたい。

阿部 雅彦

人口減少に対する取組について

問 少子化に対する施策の強化が必要ではないか。

企画情報課長 経済的な支援策、医療環境や住環境の整備等、結婚から子育てまで切れ目のない細かい支援を推進していきたい。

問 Uターン者を増やすため、さらなる条件整備や情報発信が求められるのではないか。

企画情報課長 農商工業の後継者対策、地域コミュニティの担い手とし

てUターン者への期待は高い。今後
も住居や就業対策等についての取
組を強化したい。

文化政策の取組について

問 新設された文化政策課の中心
的な役割は何か。

文化政策課長 竹田市総合文化ホ
ールの開館準備とその後の管理運
営。国民文化祭や全日本高等学校
声楽コンクール等の事業実施計画
を推進していく。

問 商工観光施策として、竹田市総
合文化ホールをどのように活用し
ていくのか。

商工観光課長 竹田市総合文化ホ
ールを拠点施設として、文化とアー
トを観光に組み入れたカルチャーツ
ーリズムやアートツーリズムを展開
していきたい。

竹田市長長期総合教育計画について

問 8年目の実践に入った竹田市
教育のまちTOP運動の中で、これ

から特に力を入れていく点は何か。

教育長 協調学習・学校間交流の中
で実践するT授業・竹田郷土学を学
習の軸として、保護者や地域の皆さ
んと連携しながら、竹田市独自の教
育活動を市全体で展開したい。

問 教育予算のさらなる充実を図
り、魅力ある竹田市づくりにつなげ
てはどうか。

教育総務課長 子ども達の安心と
安全を確保するための教育環境整
備や、一人ひとりの子どもの学力を
保障するための経済的支援に力を
入れていきたい。

※1 カルチャーツーリズム：観光庁は、平成22年
1月14日の「観光立国推進基本計画における
ニューツーリズムの位置づけについて」で、文
化観光を「日本の歴史、伝統といった文化的な
要素に対する知的欲求を満たすことを目的と
するもの」と定義つけた。
※2 アートツーリズム：美術館などの展示施設や、
野外彫刻などの芸術作品を巡ること、地域
の文化に触れる観光活動。大辞林（三省堂）

上島 弘二
(日本共産党)



共謀罪法について

問 共謀罪法は国民の自由な言論
や表現活動を侵害し、監視社会、密
告社会を招く現代版治安維持法だ
と思う。市長はこの法をどう把握し
ているか伺いたい。

市長 拡大解釈されるようなこと
があつてはならないし、国民が十分
納得できる法でなければならぬと
考える。

国保税の一世帯あたり2万円の引き 下げについて

問 竹田市の国保税は、昨年度県下
で一番高いが、一世帯あたり2万円
の引き下げが出来ないか伺いたい。

保険健康課長 仮に2万円の国保
税を引き下げると、約8千万円必要
となるが、その年にインフルエンザ
等が発生すれば医療給付が起きな
いことになる。このような状況の下
で、国保税の引き下げはできない。

子ども医療費の完全無料化について

問 通院時の一部負担のみが残って
いるが、これを完全無料化すること
は出来ないか。

市長 来年、平成30年度から完全無
料化に向けて検討する。

北部九州大豪雨時の魚住ダムと大 水害の関係について

問 「大量の流木が魚住ダムのゲー
トを塞いだ事実はない」という九電
側の回答を証明する証拠がない。こ
れに関し市長はどう把握している
か。

総務課長 5回の検証会議から、ダ
ムは大水害に影響は無かったと認識
している。

問 2回にわたり魚住ダムの撤去
を九電に要請したが、その回答を知
りたくない。

総務課長 「ダムの撤去はしない。
その他の改修を行う」との回答があ
つた。

問 魚住ダム建設の際に、九電と当
時の竹田市が取り交わした「文書」
を公開してもらいたい。

市長 「文書」は公開する。

文書の内容は、竹田町・竹田町議会はダム建設に協力する。名勝「魚住の滝」に及ぼす影響については了承する。九電は竹田町に2千万円を寄付するとなっている。

佐藤 美樹



今春の市長選・市議選を振り返る

問 年代別の投票率は。

選挙管理委員会事務局長 直近の詳細データをとった選挙は昨年の参院選(竹田地区のみ)で、10〜20代は約40%、30〜50代が50%強、60〜70代では約70%、80代になると48%であった。今春の選挙の年代別データはない。

問 投票率が低下傾向にあるが、原因と対策は。

選挙管理委員会事務局長 原因は、

高齢化と若者の減少にあると考え。成人式に啓発用品を配布するなど投票の呼びかけをしている。

問 開票事務の効率化を図れないか。

選挙管理委員会事務局長 計数機の更新や、次回に向けて事務引き継ぎを行う。

ユネスコエコパーク認定について

問 認定登録の作業経過は。

商工観光課長 大分・宮崎県の祖母・傾・大崩山系を抱える4市2町で候補地を確定し、ユネスコに登録申請書を出した。当市では姫岳地区の民間団体がトレッキング道整備をするなど登録後の地域振興に向けた取り組みが進んでいる。6月14日に審査結果の発表がある。※

問 認定後の地域振興及び観光振興策はどうか。

商工観光課長 地元で活動する団体を支援していく。また、緒環にピジターセンターの機能を持たせ、アウトドアイベントの企画など誘客を図る。

問 安全対策をどう行うのか。

商工観光課長 自衛隊、竹田警察署、市消防本部等で登山道の点検をしている。

分館運営について

問 分館の意義は。

生涯学習課長 地域における生涯学習やコミュニティの拠点である。

問 分館への交付金はいくらか。

生涯学習課長 一分館に事業費として年7万円を交付している。

問 分館長の勤務体系はどうか。報酬の見直しはできないか。

生涯学習課長 規定に沿い、週2日と3日の勤務体系がある。報酬は合併当時から改定がなく、見直しを検討したい。

問 分館の維持管理や整備計画はあるか。

生涯学習課長 老朽化したり、手狭な分館がある。地域の状況を見て、公共施設整備計画に入りたい。

※6月14日夜に祖母・傾・大崩ユネスコエコパークに登録認定されました。

井 英昭



久住町中心部の整備について

問 町民センター跡にコミュニティセンターを建設予定と伺っているが、どのような建物か。

久住支所長 平成25年から、まちづくり委員会にて協議を重ねてきた。予算額は6千600万円、今年度着工に向けて設計を進めている。平屋造りで大会議室、小会議室、トイレ、事務室を予定し、主な用途は学童保育、暮らしのサポートセンターの補助施設、地域住民集会施設などの利用を予定。名称についてはまちづくり委員会で公募方法を決定したい。

問 建物の延べ床面積は。

久住支所長 現在詳細を設計中だが、大会議室は66㎡、小会議室は31㎡、事務室は17㎡程度。

まだまだそのような建物が建設されることについて知られていないので広報に力を入れていただきたい。

南登山口マランコースについて

問 トイレをせっかく新設したが、閉まっていて使えないことがある。どう対処するか。

久住支所長 今後については利用者の利便性を考えながら利用時間の設定を考えていきたい。

問 犬の立ち入りを禁止しているが、観光客からはクレームがある。部分解禁は考えられないか。

生涯学習課長 クレームに関しては承知している。事故の際、飼い主の責任を問う判例もあることから、お断りをしている。

あの場所は久住観光の玄関口ともいえる。ランナーだけのものではなく、柔軟に考えていただきたい。

問 国道沿いの柵が老朽化している。早急に対応をお願いしたい。

久住支所長 県土木事務所の方にお願いしている。

問 利用する際をお願いしている協力金箱の設置場所を分かりやすい場所に変更できないか。

生涯学習課長 現在検討中。

問 その協力金のこれまでの累計額はいくらになるか。

生涯学習課長 63万6千937円。その他に民生児童委員協議会へのサポート体制について質問した。

渡辺 克己



三重総合高校久住校の学生寮の新築工事について

問 市長から県に要望した3点はその後どのようになっているのか。

1 農業科としての専門高校としての独立。

2 生徒の全国公募について。

3 特色と魅力のある学校とするため

の教授陣の重点配分。

市長 県と協議を重ねている現状である。

問 学生寮の建設規模等について聞く。

総務課長 グラウンド隣接地に建設する。学生寮は市、研修棟は県が主体で建設する。全体が2人部屋で41室、82名定員で内29室が男子寮(58名)女子寮は12室(24名)の規模で、総事業費は約4億4千万円である。

問 現在の寮生は男子30人、女子6人だが学生寮の規模が大きすぎるのではないか。

市長 市が考えたものではない。定員を満たせる計画として県が考えたものである。

問 市が事業主体と言いながら建設計画は県任せである。県立高校の学生寮であるが県からの補助や支援はあるのか。

市長 学生寮に対して県が過去建設費を支出したことはない。支援は寮建設用地の提供と起債借り入れ時の支援。

問 29年度40名定員に対して22名

の入学人数であるが寮の規模は。

市長 県が十分検討したことであり必ず定員を満たすと考える。市としても志願者増に協力していく。

問 竹田高校の通学費等補助、稲葉学園竹田南高校のサッカー場及び寮建設費補助の扱いに比べて助成額が大きい久住校への約4・4億円

の支出について、費用対効果をどのように考えているのか。

総務課長 久住校の存続を目指し、本市の基幹産業農業の振興、後継者の育成確保である。

問 寮の維持管理費についてどうか。

総務課長 協議中である。実施設計完成後検討し決定される。

問 費用対効果は市内で就農する学生を育てることではないのか。離農する高齢農家の「農地・機械・技術」を受け継ぎ市内に「里親就農」する生徒を育てる施策としてはどうか。

市長 早急にアンケート調査を実施、他人に農業を任せる高齢農家を把握し、政策としていきたい。

第2回定例会 予算特別委員会

平成29年度一般会計補正予算
12億4,457万5千円増額
(総額:222億4,757万5千円)



平成29年第2回定例会・予算特別委員会が6月19日・27日の両日開催され、付託された一般会計予算を慎重審査した結果、全会一致で可決されました。

補正予算の概要

【歳出】

◆総務費

総合文化ホール開館記念事業	499万4千円
TAO学院構想に伴う設計委託料	3,000万円
ケーブルネットワーク事業	1億3,573万3千円

◆民生費

敬老会補助金	623万3千円
国民健康保険特別会計繰出金	1,800万9千円

◆衛生費

地域新電力事業	1,800万円
自治体新電力新規参入事業	506万5千円
温泉利用型健康増進施設整備事業	6億900万円

◆農林水産業費

火山活動降灰対策事業	1,569万2千円
ピーマン集出荷貯蔵施設整備事業	2,189万6千円
ほだ木造成支援事業	1,000万円

◆商工費

竹田市中心部サイン整備計画等策定業務委託料	700万円
竹田キリシタン文化推進事業	357万9千円

◆土木費

街なみ環境整備事業	1,500万円
市道穴井迫荻線改良工事請負費	719万3千円
工作物移転補償費	930万円

◆教育費

歴史資料館解体工事費	3,425万円
文化会館建設事業	7,750万円

■人件費

給与減額措置及び共済負担金財源率変更等	△8,965万1千円
---------------------	------------

【歳入】

使用料及び手数料	17万円
国庫支出金	1億3,162万8千円
県支出金	1,998万8千円
財産収入	143万円
寄付金	20万円
繰入金	6億5,573万9千円

《内訳》

地方創生基金	3,000万円
財政調整基金	4億2,573万9千円
公共施設等総合管理基金	2億円

諸収入	1,342万円
市債	4億2,200万円

条 例 案

議案番号	件 名	結 果
議案第87号	竹田市長及び副市長の給与に関する条例及び竹田市教育委員会教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可 決
議案第88号	竹田市子育て定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決
議案第89号	竹田市総合文化ホール設置条例の制定について	可 決
議案第90号	竹田市総合文化ホール運営審議会設置条例の制定について	可 決
議案第91号	竹田市税特別措置条例の一部改正について	可 決
議案第92号	竹田市分担金徴収条例の一部改正について	可 決
議案第93号	竹田市荻福祉健康エリア条例の一部改正について	可 決
議案第94号	竹田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可 決
議案第95号	竹田市文化会館条例の廃止について	可 決

予 算 案

議案番号	件 名	結 果
議案第58号	平成29年度竹田市一般会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第59号	平成29年度竹田市立子ども診療所特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第60号	平成29年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第61号	平成29年度竹田市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第62号	平成29年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第63号	平成29年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第64号	平成29年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第65号	平成29年度竹田市水道事業会計補正予算(第1号)について	可 決

人 事 案

議案番号	件 名	結 果
議案第66号	竹田市監査委員の選任について	同 意
議案第67号	竹田市公平委員会委員の選任について	同 意
議案第68号	竹田市公平委員会委員の選任について	同 意
議案第69号	竹田市公平委員会委員の選任について	同 意
議案第70号	竹田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第71号	竹田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意

議案第72号	竹田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第73~86号	竹田市農業委員会委員の任命について	同意
請願・陳情・意見書案		
議案番号	件名	結果
請願第 1号	義務教育費国庫負担率2分の1復元に関する意見書の提出を求める請願書	採択
請願第 2号	農業者戸別所得補償制度の復活を求める請願	採択
請願第 3号	「共謀罪」(テロ等準備罪)法案の廃案を求める意見書の提出を求める請願書	不採択
陳情第 2号	繁殖豚舎建設反対の陳情書	継続審査
陳情第 3号	大型養豚施設建設反対の陳情書	不採択
意見書案第1号	農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書	可決
意見書案第2号	義務教育費国庫負担率2分の1復元に関する意見書	可決

■賛否一覧表

※賛成・反対の双方あった場合のみ表示しています。

議案番号・件名		議員名(議席番号順)														審議結果		
		首藤健二郎	佐藤市蔵	上島弘二	佐藤美樹	鷲司英彰	山村英治	阿部雅彦	渡辺克己	井英昭	徳永信二	佐田啓二	坂梨宏之進	加藤正義	吉竹悟		本田忠	日小田秀之
請願第 3号	「共謀罪」(テロ等準備罪)法案の廃案を求める意見書の提出を求める請願	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	○	●	○	●	●		不採択
陳情第 3号	大型養豚施設反対の陳情	●	○	●	●	●	○	●	●	●	○	●	○	●	○	●		不採択

※議長は表決に参加しないため、表決結果は空欄 表の見方……○:賛成 ●:反対

議会を傍聴にいらっしゃいませんか



所定の受付簿に住所・氏名等を記入するだけで、本会議や各委員会を傍聴することができます。

どうぞ、お気軽においでください。

また、ケーブルテレビでも定例会初日の提案理由の説明と、一般質問及び代表質問の中継を行っています。

お問合せ 竹田市議会事務局 ▶▶ ☎0974-63-4813

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の趣旨に基づき、暑中見舞いなどの挨拶状を廃止させていただいております。
また、本年度初盆を迎えられるご親族へのお供物等につきましても失礼させていただきます。
新仏のご冥福をお祈りいたします。

竹田市議会



**台風3号ならびに
平成29年7月九州北部豪雨のお見舞い**

台風3号と平成29年7月九州北部豪雨に被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。
竹田市では、急傾斜地の崩落や農業施設の損壊、収穫前の農作物に被害がありました。竹田市議会は、皆様の安心な暮らしが取り戻せるように、引き続きご支援をしております。
更なる自然災害に直ちに対処してまいります。
竹田市に住まわれる皆様が、ひとつの気持ちになっ
て、乗り越えていくことを願います。

竹田市議会

請願・陳情について

請願とは国や県・市に対し
要望や意見を述べることをいいます。
竹田市議会に請願書を提出するには竹
田市議会議員の紹介が必要になります。
詳しくは竹田市議会ホームページを
ご覧いただくか、議会事務局まで
お問い合わせください。
☎0974-63-4813

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。

竹田市議会ホームページ



本議会の会議録や議会の日程、質問項目、議会のしくみと役割など様々な情報を掲載しています。

竹田市議会 検索 <http://www.city.taketa.oita.jp/gikai/>

あとがき

議会だより第46号をお届けいたします。

本年4月に竹田市議会議員の選挙があり16人の議員が選ばれました。6月には選挙後初の定例会(6月議会)がありました。

今回の議会だよりは、6月議会における市長の所信表明をもとにした会派の「代表質問」と「一般質問」、それに補正予算、条例案が主な内容となっています。

今後とも市民の皆様と共に、市政発展のために活動して参ります。ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

編集委員 鷺司 英彰

